

株式会社カイヤマグチ Technical Report No. 1

出石城登城橋

城の表玄関である大手門とその前の広場を結ぶ戦略上きわめて重要な橋。その価値は現代においても変わりはない。かつては鋼製そのものの橋が架けられていたが、但馬きっての古刹の風情をかもしだすために町の人々の期待を受けて、往時の姿を彷彿させるものへ改築されたもの。耐力上主要構造は鋼桁であるが、伝統的な姿を再現するため寺社建築の専門家の指導の元、桧の無垢を使用し本格的な木造橋梁の手法を採用した。



事業体	出石町（現豊岡市）		
河川名	谷山川	建造年	平成6年
活荷重	床版に対して5.0 kN/m ² 、 主桁に対して3.6 kN/m ²		
雪荷重	1 kN/m ² （活荷重と同時載荷）		
橋長	14.00 m	幅員	3.30 m
構造概要	H型鋼単純梁		
仕上げ	桁外装、高欄、床版とも天然桧材		
留意点	観光施設にふさわしい意匠		

今市橋

中国山脈の山ふところに抱かれた波賀町（現宍粟市）の観光スポットでもある道の駅「波賀南」のすぐ横にありかなり存在感のある構造物となる。全長66m余の人工物は、巨大であり自然の風景にとっては夾雑物。その印象をいかに少なくし、経済合理性を追及しながら風景と溶け合うものができるかに配慮しその両立を図った。



事業体	波賀町	建造年	平成16年
路線名	町道今市上野線		
河川名	揖保川水系 引原川		
活荷重	A荷重、群集荷重 (1 kN/m ² 雪荷重同時載荷)		
支間長他	支間長：31.65m、橋長：66.10m		
形式	2径間ポストテンション方式 連結桁橋		
幅員構成	0.40m（地覆）2.50m（歩道） 6.50m（車道）0.60m（地覆）		
主要材料	コンクリート 40.0N/mm ² （主桁） 30.0N/mm ² （場所打ち） PC鋼線 SWPR7BL（主桁） SWPR19L（場所打ち）		
下部	橋台、橋脚共 逆T直接基礎		
留意点	色合いと細部のデザイン		